情報処理 2 第 2 回

前回の続き

桂田 祐史 (かつらだ まさし)

2006 年 4 月 26 日

ホームページは http://www.math.meiji.ac.jp/~mk/syori2-2006/

前回の続きです。待っている時間は Linux を起動して課題 1 に取り組んでいて下さい。

1 連絡事項

- 先週、課題 0 のレポート (アンケート) を出してもらって、今日まで 13 人から届きました。届いたメールは、この講義の WWW ページ上で確認できます。ユーザー名は soyri2, パスワードは （板書します） です。
- 前回 Windows 環境で Internet Explorer を用いて TEX のサンプル文書を秀丸経由で Linux 環境まで持って来ましたが、最初から Linux 環境のブラウザー Mozilla を用いて保存すれば、自動的に Linux 環境向けの文字コードに変換されて簡単でした (ちょっと間抜けでした)。今後同じようなことが必要になった場合はそうすることを勧めます。
- 今日の目標は課題 1[1] のレポートを出すことです。締め切りは次回授業 (5 月 10 日予定) の前日までです。

A 暇な人向けに次回以降の予告編

シラバスで予告したように、“(仮称) 十進 BASIC” でプログラミングをする予定です。

必要な情報は、(もちろん授業でも説明するわけですが)「(仮称) 十進 BASIC ホームページ」[2] から得られます。

自宅のパソコンにインストールする場合は、Windows 版をインストールするのでしょうが、Linux 版もあるので、(レポートを書く都合を考えて) この授業では Linux 版を使う予定です。

次のような alias の定義をしておくことを勧めます。

[1] /~mk/syori2-2006/jouhousyori2-2006-01/node6.html
[2] http://hp.vector.co.jp/authors/VA008683/

.profile の最後に次の行を書き加える

```
alias basic=/usr/meiji/pub/Linux/share/basic/BASIC
```

起動は簡単

```
basic &
```

使い方は WWW ページの「(仮称) 十進 BASIC による JIS Full BASIC 入門」[3] で解説されていますが、Windows 版の配布ファイル中に PDF 形式のファイルがあるので、これを印刷して持っているとよいでしょう。

B TEX について追加情報

自宅の Windows マシンで TEX を使うことができます。

1. Windows 環境向けの TEX はネットから無料で入手できます。最近はあべのり[4] 氏の作成した「あべのりインストーラー」[5] を使ってインストールするのがお勧め (ただしディスクの空き容量が 500MB 程度必要です)。なお、同氏の作成した秀丸用マクロもお勧め。

2. Knoppix という CD-ROM (または DVD-ROM) で起動できる Linux がありますが、その数学屋向けバージョンである **Knoppix/Math** には最初から TEX がインストールされていて、ほぼ情報処理教室の Linux 環境と同様の使い方ができます。また、VMware/Knoppix/Math 2006[6] は、Windows 環境から VMware を利用して、Knoppix/Math を起動させることができます。

興味を持ったら是非チャレンジしてください。できる範囲で相談に乗ります。

[3] http://hp.vector.co.jp/authors/VA008683/tutorial/contents.htm
[4] http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~abenori/
[5] http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~abenori/mycreate/readme/kakuto3.txt
[6] http://www.math.sci.kobe-u.ac.jp/OpenXM/knoppix/vmkm-ja.html